

インシデントの前日である2月12日、日本でもわずかな地震が観測されました。国内で津波の脅威が発表されましたが、後にこの警告は取り消されました。地震は北部、北東部、中部の10の都道府県で感じられました。地震が発生した時点では、同じ場所で約9.1のより破壊的な地震が発生してからちょうど10周年でした。地震には、数時間にわたって続く多数の余震が続き、最も強いものはマグニチュード5.3でした。日本で採用されている日本気象庁の震度スケールによれば、地震の強さは6.5と評価されました。

この地震は2021年2月13日23:08に発生しました。地震で150人以上が被害を受けました。東京とその周辺では電力供給が中断し、約950,000世帯が停電しました。地震の影響を受けた近隣の原子力発電所は被害を受けませんでした。日本政府の代表者は述べました。しかし、いくつかの火力発電所は作業を一時停止しました。地震学者は、この地域で今後1週間以内に再度強い揺れが起こる可能性があるという警告をしています。

2月14日にはさらにマグニチュード5.2の地震が発生しました。日本の国立気象庁によると、その震源は50キロメートルの深さにありました